

平成30年11月12日(月)
福島県観光交流局県産品振興戦略課
担当 主幹兼副課長 十二所 謙
電話 024-521-7296 (内線 2981)

小山薫堂氏・眞鍋かをり氏など著名な審査委員が参加決定！

ふくしまベストデザインコンペティション商品募集開始 ～グランプリには奨励金30万円贈呈～

県では、県産品のパッケージデザイン等の向上による商品力強化を目的に、「パッケージ」「ネーミング」「企画アイデア」へのデザイン活用を図り、消費者に伝わる訴求力の高い商品を創出するため、下記のとおり優れたデザインを表彰するコンテスト『ふくしまベストデザインコンペティション』を実施します。

記

1 応募資格

(1) 対象商品

県産品として県内外で販売されているもの

※県産品とは最終加工を本県内で行っている商品を指します。

※現時点ですでに販売されている商品を対象とします。新たに開発するものは対象外となります。

※主な対象商品は以下のとおりです。

農産物(くだもの、野菜、米、その他農産物加工品)、水産物(鮮魚、干物、その他水産加工品)、畜産物(精肉、乳製品、その他畜産加工品)、加工食品(麺、調味料、酒、スイーツ、その他加工品)、工芸品(伝統的工芸品、木工品、布製品、金属加工品、その他)など

(2) 対象者

対象商品の生産又は製造を行う事業者等で原則として県内に主たる事業所を有する者

(3) 留意事項

このコンペティションはパッケージやネーミング等を審査対象としています。

商品本体のデザイン、品質、味等は審査対象ではありません。

2 表彰について

(1) 部門

以下3部門により表彰します。

I パッケージデザイン部門

(デザインに優れた訴求力の高いパッケージを表彰します。)

II キャッチコピー・ネーミング部門

(商品の魅力が伝わる印象的なコピーや商品名を表彰します。)

III 企画・アイデア部門

(独自性に溢れたアイデアのパッケージやコピー等を表彰します。)

(裏面あり)

(2) 各賞

- ・グランプリ 1者
※各部門のゴールドメダルの中から選出するものとします。
- ・ゴールドメダル 各部門1者
- ・シルバーメダル 各部門1者
- ・ブロンズメダル 各部門1者
- ・審査委員特別賞 1者

(3) 奨励金

次の各賞には、商品の販路拡大を支援するため、以下の副賞を贈呈します。

- ・グランプリ 奨励金30万円
- ・ゴールドメダル(グランプリ以外) 奨励金10万円

(4) その他

- ・受賞商品には専用ロゴマークを使用することができます。
- ・受賞商品については、県観光物産館、日本橋ふくしま館ミデッテ等に特設コーナーを設置するなど、販路拡大を支援します。

3 審査委員

- (1) 小山薫堂(放送作家、脚本家、京都造形芸術大学副学長)
- (2) 眞鍋かをり(タレント)
- (3) 国井美果(コピーライター、クリエイティブディレクター)
- (4) 鈴木正晴((株)日本百貨店代表取締役)
- (5) 鈴木順之(JUNKO KOSHINO(株)代表取締役常務、明治大学商学部特任講師)
- (6) (公財)福島県観光物産交流協会理事長
- (7) 福島県観光交流局長

4 応募方法

(1) 申込期間

平成30年11月12日(月)～平成31年1月25日(金) 必着

(2) 提出先

ふくしまベストデザインコンペティション事務局

((株)東北博報堂 福島支社 内)

住 所：〒963-8005 郡山市清水台1-3-8 郡山商工会議所会館4F

E-mail：fbdcentry@fksmdesign.com

(3) その他

様式等は、ホームページからダウンロードすることができます。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32031c/> (福島県県産品振興戦略課 HP)

(以上)

Fukushima Best Design Competition 審査委員略歴

①小山薫堂（こやまくんどう）



放送作家、脚本家
京都造形芸術大学副学長

日本大学芸術学部放送学科在籍中に放送作家としての活動を開始。「料理の鉄人」「カノッサの屈辱」など斬新なテレビ番組を数多く企画。映画「おくりびと」で第32回日本アカデミー賞最優秀脚本賞、第81回米アカデミー賞外国語部門賞を獲得。筆活動の他、地域・企業のプロジェクトアドバイザーなどを務める。「くまモン」の生みの親でもある。

②眞鍋かをり（まなべかをり）



タレント

横浜国立大学卒業。大学在学中からタレント活動を始める。TV、CM、イベント、執筆などマルチに活躍。C.P.Aチーズプロフェッショナルの資格を持つ。

③国井 美果（くにい みか）



コピーライター、クリエイティブディレクター

社内外をつなぐ様々な言葉やアイデアで、企業活動に関わっている。主な仕事に、資生堂コーポレートメッセージ「一瞬も一生も美しく」、資生堂マキアージュ「レディにしあがれ」、伊藤忠商事コーポレートメッセージ「ひとりの商人、無数の使命」、同社企業広告シリーズ、スヌーピーミュージアム、フェルメール展など多数。ADC賞、TCC賞、日経広告賞大賞など受賞多数。

④鈴木 正晴（すずき まさはる）



株式会社日本百貨店 代表取締役

東京大学教育学部卒業後、伊藤忠商事株式会社に入社。日本のスグレモノを国内外に発信するため、2006年に独立。メイドインジャパンの雑貨・食品を扱う「日本百貨店」、ニッポンの食のテーマパーク「日本百貨店しょくひんかん」をオープンし、現在は東京駅構内や飲食店「日本百貨店さかば」など10店舗を運営。作り手と使い手の出会いの場を提供し、ニッポンのローカルの生産者と逸品を都心で発信し続ける。

⑤鈴木 順之（すずき よりゆき）



明治大学商学部 特任講師
JUNKO KOSHINO株式会社 代表取締役常務

バッグ・アクセサリデザインやグラフィックデザイン、空間デザイン、ファッションショー総合演出や国内での商品開発・ブランド構築、海外での事業展開を手掛ける。明治大学商学部にてファッションビジネス分野の講義を行う。2016年度より「FUKUSHIMA PRIDE by JUNKO KOSHINO」として福島県工芸品を現代のライフスタイルにリデザインするプロジェクトに携わる。

※（公財）福島県観光物産交流協会理事長、福島県観光交流局長の略歴は省略します。